

文教常任委員会での質問

学力向上対策について

6月15日

平成27年度全国学力・学習状況調査の結果をふまえて、子供の学習意識や家庭学習の習慣について、質問しました。

道教委は、子供が主体的に家庭学習に取り組むことの大切さなどを示した保護者向けの啓発資料を作成し配布するなど、学校・PTA・家庭と連携した取り組みを進めるとのことです！



スクールソーシャルワーカーの活用とその配置について

7月9日

児童生徒が置かれている環境の問題や心の問題など解決に向けて支援する専門家であるスクールソーシャルワーカーの重要性について質問。配置状況や今後の拡充に向けた取り組みを訴えました。

いじめ・不登校などの学校教育に関する悩みや、子育て・しつけなどの家庭教育に関する悩みについての相談に対応しています。

北海道教育委員会 子供相談支援センター

※電話相談は平成27年10月1日から「子供相談支援センター」で受付けています

毎日24時間受付



0120-3882-56

メール相談アドレス doken-sodan@hokkaido-c.ed.jp

北方領土対策 特別委員会での質問

映画「ジョバンニの島」(アニメDVD)の活用について 9月7日

北方領土問題が発生して70年を迎え1日も早い問題の解決に向けて取り組んでいかなければなりません。国民の領土問題に対する意識をより一層高め、国による外交交渉をしっかりと支えることが重要です。

そこで色丹島を舞台にしたアニメ映画「ジョバンニの島」の活用を求めました。この映画は、戦後の混乱や北方領土をめぐる問題がわかりやすく描かれており、幅広い年代の方が領土問題を知り、関心を持つきっかけとして優れた素材です。

この映画の活用に向けて道としての取り組みを質問したところ、道は国に対して「ジョバンニの島」を活用した北方領土教育の充実について要望するとともに、道教委とも連携して、できるだけ多く



色丹島

の児童・生徒が鑑賞できるよう努めることと、今後も引き続き、様々な機会を通じて「ジョバンニの島」を活用した北方領土問題の啓発活動に取り組むとのことでした。是非とも「ジョバンニの島」を一度鑑賞されることをお勧めします。



プロフィール

■昭和44年3月……………釧路市生まれ
■昭和56年3月……………釧路市立東栄小学校 卒業
■昭和59年3月……………釧路市立弥生中学校 卒業
■平成2年3月……………道立釧路湖陵高等学校 定時制 卒業
■平成6年3月……………釧路公立大学 経済学部 卒業
■平成26年12月……………トヨタカローラ釧路(株) 退職

■平成27年4月……………北海道議会議員 初当選
■現在……………北海道議会 文教委員会 理事
北方領土対策特別委員会 理事

田中ひでき事務所

〒085-0046 釧路市新橋大通8丁目2-19 ミヤシタビル 3F-B
TEL 0154-65-8063・FAX 0154-65-8064



田中ひでき オフィシャルwebサイト

製作/橋新生



田中ひでき

北海道議会議員



2015.
10月

vol.1
October

Action report
アクション レポート

北海道議会議員 田中英樹 道政報告通信紙

平成27年 第3回北海道議会定例会にて／一般質問



熱い心で
未来を創る！

9月18日、第3回定例道議会にて

道東の観光振興や酪農問題、中小企業対策などについて一般質問しました。

道東の活性化が北海道全体の活性化に大きく繋がると考えます。皆さまのご期待に応えるためにも、今後ともしっかりと頑張って参ります！

1. 北海道150年事業について

●2018年には「北海道」と命名されてから150年目という大きな節目を迎えます。道はメモリアル事業として道民参加型の記念事業を検討していく。

2. 中小企業対策について

●道内企業の大多数を占める中小・小規模企業への支援は喫緊の課題。道は「小規模企業振興条例」を今年度内に制定し、経営体質の強化などを支援。

3. エネルギー問題について

- エネルギー地産地消として「小水力発電の導入促進」や水素利活用システムの構築など低炭素な水素社会を積極的に目指すことを訴えました。
- 電力の安定供給や電気料金の最大限抑制など「発送電分離」に向け北海道と本州を結ぶ「北本連携の増強」に取り組むよう訴えました。

4. 観光振興について

- 本年、観光庁が、道東・道北を中心に「アジアの宝 悠久の自然美への道 ひがし北海道」を広域観光周遊ルートとして認定。これに伴い、道東圏の釧路・女満別・帯広・中標津空港などの受入促進の検討を訴え、今後、道により地方空港の機能強化と利用促進に向けた実効ある対策が検討されます。(都市間バスのWi-Fi環境整備など)
- また28年3月開業の北海道新幹線効果を道東や道北など北海道全体に効果が波及するよう訴えたところ、知事が先頭に立ち、全道に開業効果が及ぶよう取り組むとのこと。

5. 農業問題について

- 酪農の厳しい経営環境を踏まえ対策支援を訴えました。今後、「畜産クラスター事業の活用」や就農育成や家族経営をサポートする支援システムの確立や持続可能な基幹産業として生産基盤と収益力の強化に取り組むとのこと。
- オホーツク地域のじゃがいも栽培について



北海道・道東のために全道をかけ巡ります。



高橋はるみ知事に要望書を提出しました

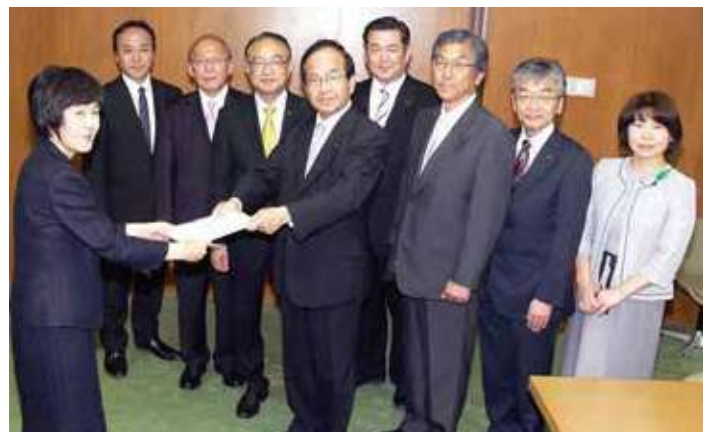
札幌



5月27日、本庁舎知事会議室にて



北海道議会公明党議員団として、高橋はるみ知事へ要望を行いました。私は、地方空港ななく釧路空港のCIQ体制の拡充による新規就航路線の拡大を要望させていただきました。北海道300万の外国人観光客達成のためにも道東の拠点空港として釧路空港をもっと活用すべきと、訴えました。



泊原子力発電所視察

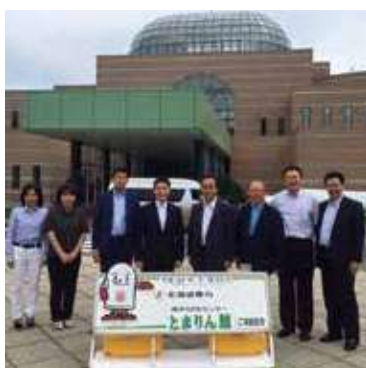
泊村



7月23日

かつて北海道の全電力の40%をカバーしてきた泊発電所。現在は3基とも停止しています。

今後、再生可能エネルギー導入の拡大とあわせてエネルギーのベストミックスを考えていく必要があります。



博物館サテライト視察

札幌



7月27日、道庁赤レンガ内にて

赤レンガには、北海道博物館を紹介するサテライトがあります。道議会公明党の実績でもある、北海道博物館およびサテライト施設。北海道博物館は4月18日オープン以来9月21日には10万人の来場者数となりました。

スケールの大きい北海道博物館にぜひご来館を！

北海道博物館

札幌市厚別区厚別町小野幌53-2



JR日高線視察

日高



8月24日

JR日高線が今年1月の低気圧の影響で不通となってから8ヶ月。高校生の通学や高齢者の通院など様々な影響があると地元自治体の首長さんより話を聞きました。1日も早い解決が望まれています。

さらに8月21日からの波浪で海岸護岸が決壊した新ひだか町春立地区も視察。近くの住民に避難指示が出ました。日高沿岸の対策が急がれます。



北方領土早期返還祈念植樹

札幌



8月28日、札幌にて

北方領土返還要求、北海道・東北国民大会に参加しました。赤レンガ前で、千島桜の植樹を行ない、その後、札幌市内を街頭行進、13時より道新ホールにて国民大会に参加しました。

私も北方領土対策特別委員会の1人として、問題解決に向けて一層の努力をして参ります。



オホーツクを視察

網走・知床



9月5日、太田国土交通大臣と佐藤英道農水政務官とともに



世界遺産の知床五湖からスタートし、「ほがじゃ」で有名な福太郎(株)を視察。九州に本社がある明太子製造販売会社が、高品質な澱粉を求めて、小清水町で「ほがじゃ」工場を設立。40人以上の雇用も生まれ地域にとってありがたい話です。

知床や網走などの雄大な自然を目の当たりにされた太田大臣

も、観光庁認定の広域観光周遊ルートである道東と道北(東北北海道)のポテンシャルの高さに大変関心を示されていました。インバウンド2000万人という国の目標達成のためにも北海道300万人を達成するためにも東北道のさらなる発展を私も願っています。オホーツク流氷館では地元市議や町議の皆さまと合流。ネットワーク公明党の絆を深めることができました。



世界自然遺産 知床

北方領土 色丹島視察

色丹島



8月7日～10日

北方領土ビザなし交流、色丹島に行きました。色丹島は、とても美しい島です。知床にも劣らない景観です。日本人墓地の墓参、島の人たちとの交流など大変意義深い視察となりました。国の外交交渉をしっかりと後押しすべく取り組んで参ります。



色丹島



色丹島

さけ・ます問題視察と要望

根室



8月17日

ロシアのさけます流し網漁禁止に伴い根室市役所、4漁協、商工会、水産協会、トラック協会など多くの方々より窮状をお聞きました。

地域経済への影響は計り知れないものがあり、地元要望にしっかりと応えなければなりません。また、北方領土問題の解決



についても戦後70年を迎えた本年さらなる取組みが不可欠であると強く感じました。北方領土対策特別委員会の一員として、力強く進めていく決意です。

北海道新幹線視察

函館



9月4日、新函館北斗駅にて

函館市長と北斗市長と意見交換させていただきました。

平成28年3月26日、ついに北海道新幹線が開業します。この新幹線効果を全道に波及させるべく、2次交通の整備など様々な可能性を追求していきます！



札幌医科大学視察

札幌



9月13日



脳梗塞や脊髄損傷、糖尿病からの腎疾患に対し、自身の骨髄液を培養して再生させる治療が進められ、大変素晴らしい効果が認められています。

特に脊髄損傷の再生は、これまでの医学の常識を覆す実証であり、実用化に向け、しっかりとサポートしていきたいと考えます。